



0円ソーラーについて

令和7年10月11日

神奈川県脱炭素戦略本部室



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



「0円ソーラー」の概要



「0円ソーラー」とは

事業者が初期費用を負担して、住宅に太陽光発電を設置し、発電した電力の売電料もしくは設備のリース料により、初期費用を回収するので、住宅所有者は**初期費用0円**で太陽光発電を設置できるものです。

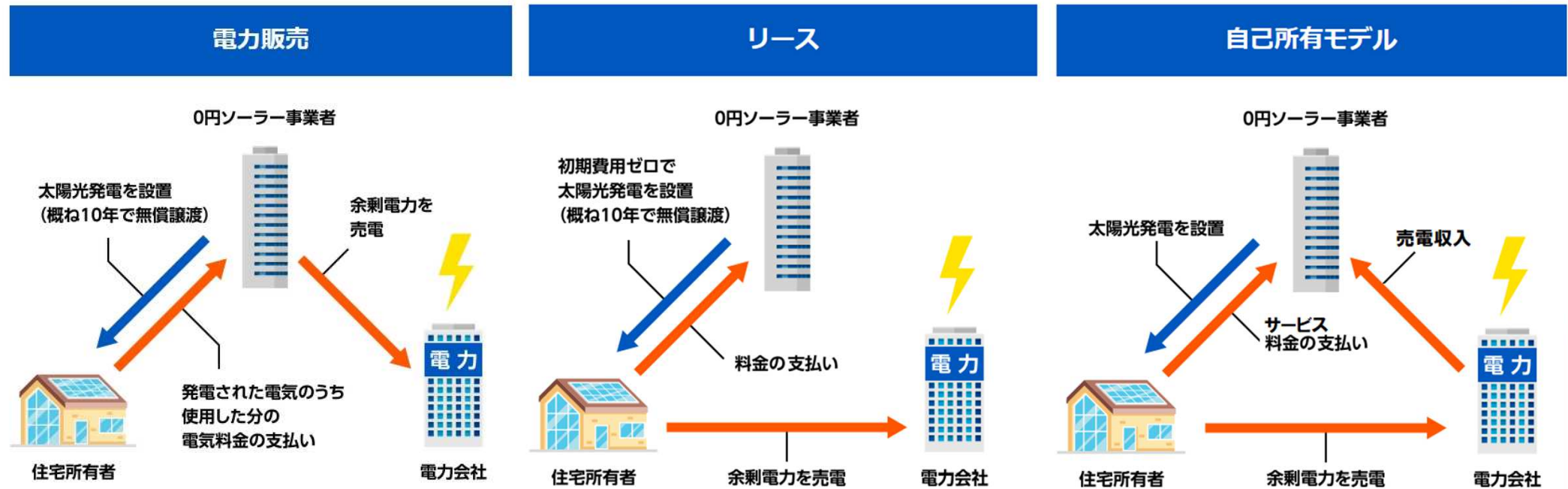
設置後、一定期間（概ね10年間）は、発電された電気のうち使用した分の電気料金もしくはリース料の支払いが必要ですが、一定期間経過後は、設備が住宅所有者に無償譲渡されます。



契約プランの主な仕組みについて



「0円ソーラー」の仕組み



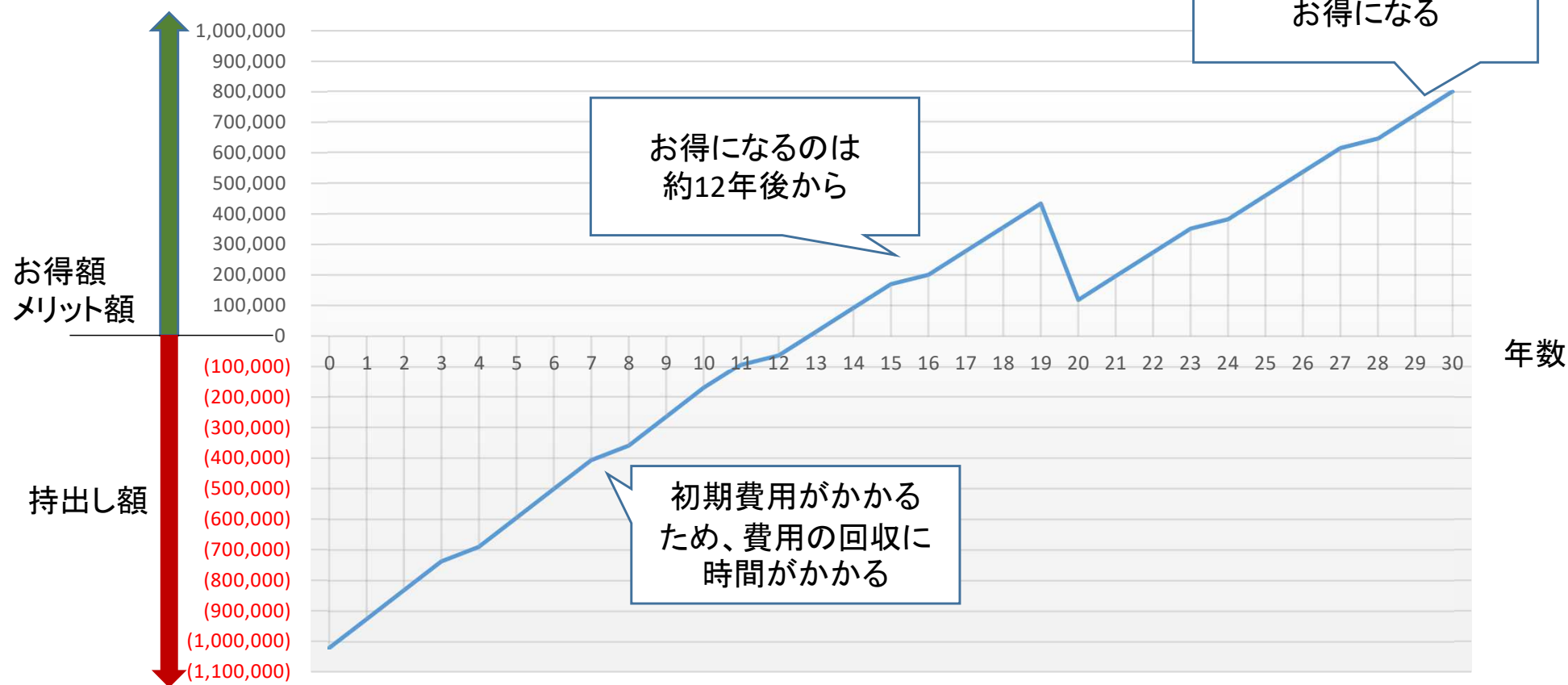
電力販売	事業者が住宅に太陽光発電設備を無料で設置し、発電された電気を当該住宅所有者などに販売するもの
リース	太陽光発電設備を事業者が代わりに購入・設置し、住宅所有者は太陽光発電設備の使用料を毎月支払うもの
自己所有モデル	余剰電力の売電債権と引き換えに事業者の負担で太陽光発電設備を設置し、住宅所有者は売電債権相当額が減額されたサービス料金を毎月支払うもの

費用負担シミュレーション(0円ソーラー、補助金あり)



→月々の持ち出しなく太陽光発電を利用でき**メリットが多い**

<参考> 太陽光を購入した場合（補助金等なし）



秦野市産木材の 利用補助について

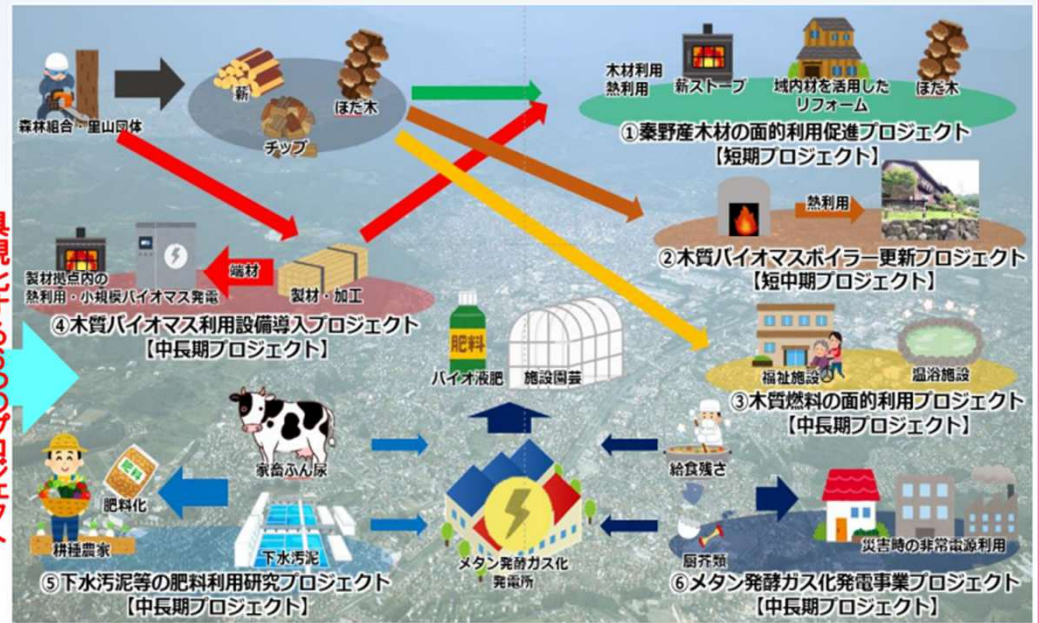
秦野市環境共生課 近松 将和

秦野市バイオマス産業都市構想

- 「バイオマス産業都市」とは、地域で発生するバイオマス（下水汚泥、家庭生ごみ、剪定枝、木質未利用材など）を整理・加工し、地元で循環・再利用するまちづくりの仕組みのことで、本市は「秦野市バイオマス産業都市構想」を策定の上、令和7年2月に関係7府省の審査を経て、全国で104例目となるバイオマス産業都市の認定を受けました。
- 豊富な森林資源を木材そのものとして「製品利用」することを特徴に、6つの事業化プロジェクトを市民や事業者の有機的な連携のもと推進し、地域経済への波及、脱炭素社会と循環型社会の構築に向けたまちづくりを目指していきます。



具現化する6つのプロジェクト



快適な住まいづくり事業

出典：秦野市HP

秦野産木材の利用補助について

秦野産木材を使った住宅の新築及び
リフォームの補助を行っています。



【補助金額】

区 分	構造材 1 m ² あたり	内装材 1 m ² あたり
ヒノキ材	5万円	2500円
スギ材	2万6000円	1600円

【限度額】

構造材に使用する場合 **60万円**

内装材に使用する場合 **35万円**

構造材及び内装材の両方に使用する場合 **60万円**



【補助条件】

- 市内施工業者による秦野産木材を使用した住宅の新築・購入、またはリフォーム
- 秦野市内に在住している方、又は住宅の新築・購入後に秦野市に在住する方
- リフォームをする方は、申請時に秦野市に在住している方で、対象となる住宅を所有し、かつ居住していること
- 使用量 構造材として **3m³** 以上
内装材として **9m²** 以上
構造材及び内装材の両方 合計で **3m³** 以上または **9m²** 以上

使用量の目安 **3m³**：12cm×12cm×6mの柱で約35本分
 9m²：フローリング約6畳分

- 市税等を完納している方
- 過去にこの補助金の交付を受けたことのない方